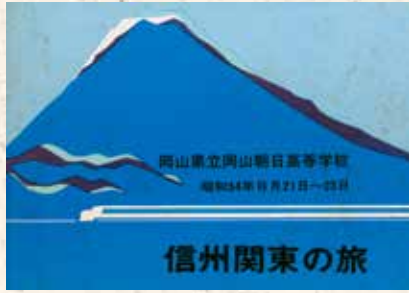


行程表

期日(曜)	行	程	宿	泊	
8月21日(火)	集合 7:50 ひかり2号 10:02 岡山 10:02	岡山駅団体待合室(2階ビータプラザ棟) 新大塚 10:14 こたぎ 236号 13:23 13:40 14:40 15:30	新大塚 10:14 元箱根 16:30 元箱根 17:00 津ノ湖遊覧 17:20	新大塚 10:14 元箱根 16:30 元箱根 17:00 津ノ湖遊覧 17:20	新大塚 10:14 元箱根 16:30 元箱根 17:00 津ノ湖遊覧 17:20
8月22日(水)	岡山 8:33 石和 13:40	岡山 8:33 石和 13:40 白樺湖 14:00 白樺湖 15:40 白樺湖 17:00 白樺湖 17:20	岡山 8:33 石和 13:40 白樺湖 14:00 白樺湖 15:40 白樺湖 17:00 白樺湖 17:20	岡山 8:33 石和 13:40 白樺湖 14:00 白樺湖 15:40 白樺湖 17:00 白樺湖 17:20	岡山 8:33 石和 13:40 白樺湖 14:00 白樺湖 15:40 白樺湖 17:00 白樺湖 17:20
8月23日(木)	岡山 8:33 ひかり137号 18:00	岡山 8:33 ひかり137号 18:00 岡山 18:30	岡山 8:33 ひかり137号 18:00 岡山 18:30	岡山 8:33 ひかり137号 18:00 岡山 18:30	岡山 8:33 ひかり137号 18:00 岡山 18:30



◀▲昭和56年卒のしおり

〔参考文獻〕  
尚志會雜誌 一〇二七号  
(明治二十三年一月〜二十七年十月)  
高城一 号〜百七十一号(明治二十八年〜平成二十五年)  
岡山朝日高校史料第四集  
〔岡山朝日高校修学旅行の実態〕後神俊文  
岡山朝日高等学校教育史資料第五集  
〔学校行事から見た岡山朝日高校の形成  
―修学旅行の開始を中心に―〕太田進  
岡山朝日高等学校の修学旅行(二)後神俊文  
〔覚書〕岡山朝日高校の修学旅行(一)後神俊文

行の日は関係ないが、進学校としての伝統はいまだに受け継がれているようである。以上わが母校の修学旅行の変遷を巡ったわけであるが、昔の仲間が集まった際にそれぞれの修学旅行の思い出を語り合っではいかがであろう。



▲岡山朝日高校最初の修学旅行/広島平和記念公園(昭和37年卒)



(昭和51年卒)

ゆいすい回顧録

大正6年(4年級)

水族館で陵へ行けない者と別れたが大電車で濱寺へ飛ばして居るだろう。道が分らん。一町行つては間ひ五町行つては止る。幾ら歩いてもそれらしい影はない。學校で問つた時には練兵場へ行く位のものだと言われたがもう練兵場は十回も廻つた位ある。先生の方では道が分らない。…(中略)…先頭の先生は骨の折れた事で氣の毒な程道を問うて行かれる。…(中略)…行くほど遠ざかつて行く。後へ行つたら行けるだろう。ヒョットすると地球を一周して居るのかも知れない。…(中略)…落伍者が多い先頭と後尾とは常に一里位の間隔で濱寺街道をゾロゾロ。

ゆいすい回顧録

大正4年(5年級)

熟睡中…(中略)…かねて用意の墨で顔中真黒にせられはせぬかと稍不安ではあつたが疲れ切つた身に取つてはそんな事は頓着なく後は白河夜船の浪の跡…(中略)…皆起き出で、互いの顔を見合はすればこは如何に、一夜の内にカイゼル髭の如何に多くなりし事よ、どの面々も皆堂々たる好紳士その花髭の如何に豊に艶々しき事よ。

ゆいすい回顧録

大正14年(3年級)

正に汽船が嶺島の地を離れんとした時、突然大事件が突發しました。人員黒手すれば親しい四名の友が見當りません。吾等一同の驚きはどんなだつたでせう。併し其事件は判明しました。それは、昨夕彌山登山の際四名のものは各自個人で山深く入つた為遂に路を失ひ、夜のとばりは深山を蔽ひ、冷氣しみる山上の松の根を枕にして一夜を明かした事でした。

ゆいすい回顧録

大正12年(4年級)

夕食後、数人と市内を見物して…(中略)…猿澤の池畔に至れば、驚くべし、今正に戦ひ酣(たけなわ)也! 修学旅行に來りし千葉商業に對する岡山中學鳥取師範聯合軍池の両側に對峙して! 両軍共校歌、應援歌果ては流行歌を歌つて、歌の争ひ又しく沈黙の奈良市を賑はした。負けず劣らず兩軍の歌々ふ聲は、鹿を走らせ水面にあやを折り月影を躍らした。(自由時間のエピソード)

ゆいすい回顧録

大正8年(5年級)

天守閣跡の高臺に上り申候。…(中略)…西方はるかなる築港方面は、市内隨所に林立する無数の煙突より吐き出す黒煙に遮られて全く不分明に御座候。多分此所らがグレート大坂のグレート大坂たる所以かと存じ候。併し一人人間の生存するに一日も缺(か)くべからざる新鮮なる空氣は、奈邊より供給せらるゝものか甚だ氣がりに御座候。



錦帯橋(昭和50年卒)



宮島(昭和49年卒)



秋芳洞(昭和48年卒)